

徳地の森で通学キャンプ

令和3年2月20日(土)

【目的】

他の小学校区や学年が異なる友達と、家庭を離れて自然の家で共同生活を送ることにより、規則正しい生活習慣の素地を養うとともに、他校区の友達と交流して仲良くなり、スムーズに中学1年生での生活に移行する素地をつくる。

【参加者】

5名(男子3名、女子2名/4年生1名、5年生3名、6年生1名)

【プログラムの内容】

- 9:10 はじまりの会
 - 9:30 みんなで遊ぼう①
 - 12:40 昼食・昼休み
 - 13:20 みんなで遊ぼう②
 - 15:00 おわりの会・解散
- ※新型コロナウイルス感染拡大の影響のため宿泊開催取り止め

はじまりの会



参加者した5名のほとんどが、何度も自然の家に来所経験がある子どもたちであった。参加人数が少なく、事業への参加経験が豊富であったこともあり、異なる小学校からの参加者とも自然と言葉を交わし、一緒に楽しもうとする雰囲気がつくられていった。

参加した子どもたち同士で1日どんなことをしたいかホワイトボードに書き出し、満場一致で雪遊びから始めることとなった。

みんなで遊ぼう①



数日前から降り積もった一面の雪に参加者は大興奮の様子であった。そり滑りでは、どこまで滑って進めるかを互いに競ったり、2人で一緒に滑ったりと無邪気に楽しむ姿が見られた。はじめはすぐにそりごと転んでいた子どもも何度もチャレンジすることで、スピード感を味わいながら上手に滑ることができるようになっていった。

そりの後は、雪合戦を楽しんだ。子どもたち自身が、安全に楽しめるルールを設定する中で意見を出したり、譲り合ったりと誰もが楽しめるよう工夫する姿が印象的であった。

昼食・昼休み



昼食は、各自が持参したお弁当を持って輪になって座り、お互いのお弁当やおにぎりの中身を話題に食べた。昼食後は、室内でピアノ演奏を披露したり、一緒に活動するボランティアと遊んだり、楽しい時間を過ごした。

みんなで遊ぼう②



午後の時間は、再度みんなが活動したいことを出し合ったが、竹馬などの昔遊び、ドッジボール、雪遊びと意見が分かれてしまった。はじめに竹馬や一輪車で遊んだ後、残りの時間の使い方をみんなで話し合い、分かれることなく一緒に活動することができた。

おわりの会



おわりの会では、一緒に活動してくれたボランティアに感謝の言葉を伝えることができた。送りの車内の会話は行きの時よりも盛り上がり上がっている様子だった。

【参加者の声】

参加者からは、「どれも楽しかった」「雪遊びをもっとしたかった」「今度は2泊して雪遊びをしたい」などの声をいただき、宿泊での事業開催に対する期待の声も多かった。また、送迎時に保護者からも、次年度の宿泊開催を望む声をいただいた。

アンケートの結果は、参加した全員から満足度4(最上位評価)をいただいた。

【成果】

参加者に活動内容や時間の使い方、遊びのルールを決定する機会をもったことで、自然と声を掛け合う雰囲気を促すことができ、互いに安全について配慮し、安心して活動に取り組める関係の構築につながった。

【課題】

参加者が通う学校に対して、連絡の齟齬が生まれてしまった。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で各学校の先生方に協力を仰ぐことができず、昨年度より参加者が少ない結果につながった。引き続き、協力校との連携を強めるための運営方法を見直す必要がある。